



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3548回例会・2026年4月22日

本日のプログラム

ゲスト卓話

「人生会議についてーもっと気軽にー」

日本赤十字北海道看護大学 講師 彌富 祐樹 様

**UNITE
FOR
GOOD**

R. I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3547回例会（4月15日）の記録

ロータリーソング それでこそロータリー**会長挨拶** 小林会長

皆さん、こんにちは。4月12日に旭川でクラブリーダーシップラーニングセミナーが開催され、多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございます。次年度の山本ガバナーの方針が発表され、クラブの持続可能性や会員の増強、プロジェクト管理の研修など、多くの事が行なわれました。能動的な議論を通じて、次年度のクラブ活動の活性化に繋がればと思います。いよいよ次年度が始まろうとしていますので、この機会をしっかりとして皆さんのものにしていただき、良いスタートが切れるよう願っています。

本日4月15日はヘリコプターの日です。画家・建築・医学と多くの分野で能力を発揮したレオナルド・ダ・ヴィンチが、ヘリコプターの原案を作ったということです。また、1983年の今日は、夢と魔法の国である東京ディズニーランドが開園した日でもあります。我々北見ロータリークラブとしても、時代を超えた創造と夢を大切にしています。ダ・ヴィンチさんのように、私達も奉仕の理想、親睦を通じて夢と希望を与えるような活動を行っていただければと思います。以上で会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告 高橋幹事

- 4月11日、12日に開催されましたCLLS旭川にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございます。地区より御礼が届いております。
- 4月18日は4RC麻雀大会がございますので、登録された皆さんと参加して来ます。
- 4月20日は緑の募金街頭キャンペーンがありますので、10時30分に北見駅前広場にお集まり下さい。
- 4月25日はIM網走が開催されます。懇親会の最後に次回IMのPRを行ないますので、可能であれば最後まで残っていただき皆さんでPRしたいと思います。よろしくお願いいたします。

委員会報告**木村環境保全委員長**

高橋幹事からもお話がありましたが、4月20日(月)10時30分より北見駅前前で募金活動を行います。約15名の方が参加して下さる予定になっておりますが、都合のつく方は私が高橋幹事までご連絡下さい。この日はパラボさんで春のうまいもの市が開催されておりますので、お帰りの際は是非お立ち寄りください。また、5月17日(日)午前10時より、北見市民スケートリンクにて市民植樹祭が開催されます。各ロータリークラブも参加いたします。参加者には花の店タマキさんより花苗のプレゼントもありますので、是非奮ってご参加いただければと思います。

曾部親睦活動委員長

先週、レターボックスに花見夜間例会のご案内を配布しております。5月20日(水)18時30分よりオホツクビールさんで行います。花見夜間例会ということで、当日は何か桜色の物を身につけて来て下さい。よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

主藤会員~2023年-2024年度、地区ライラ委員会メンバーの帯広西RC上野庸介氏が、この度の帯広市長選で見事、当選されました!! 祝

プログラム**会員卓話 「社会秩序の構造変化」**

株式会社 福地工業 取締役会長 福地 博行 会員



皆様、こんにちは。1年ぶりに卓話をやらせていただくことになりました。会長、幹事からはホルムズ海峽危機に伴う石油情勢の話と言われましたので、それも少し入れてお話したいと思っています。最近のこのニュースを聞いていると、アメリカもかなり手こずっていて、この戦争の結果はどうなるのかと思っています。また、とにかくフェイクニュースが多く、戦争プロパガンダが溢れていて、この話をするためにネットを見ていたら頭が混乱してきました。悩んだ末にこのようなタイトルをひねり出しました。政治家の行動というのは、本来は社会秩序が作り出す構造によって制限されているはずですが、ところが、トランプ大統領は予測不能な言動を繰り返し、どうしてなのかを考えた時、社会構造つまり社会秩序が変わってきているのではないかと考えました。トランプ大統領は新しい現実に対応しようと行動していて、古い常識で彼を見ると

言動が奇妙に見えるということです。そういう変わった視点で現在の情勢を眺めてみようかと思い、このようなタイトルにしました。国際政治学者の藤井厳喜先生の本を先日読みました。藤井先生はグローバリズムが衰退してナショナリズムが復活すると言っており、第3次世界大戦も石油ショックも起きない、と本では書いていました。また、藤井先生は政治が経済を決定するという立場の人であり、世界最高権力者である米国大統領が何を言うかが重要だとしています。その政治決断で大きく変わっていく社会情勢を観察することによって、次のトレンドが予測できると言っています。そして、冷戦後の米国一極支配の時代が終わったことでグローバリズムが終わり、ナショナリズムが復活すると言っています。すなわち、新しい秩序を共創する時代になり、社会構造が大きく変わろうとしています。私なりに50年前の石油ショックを振り返ってみました。1969年以前はオイルメジャーがカルテルを作って原油価格を決めていたため、価格はほぼ一定でした。ところが、1973年にエジプトとイスラエルの戦争が始まり、OPECが石油輸出停止と値上げを実施しました。1979年にイラン革命、1980年にはイラン-イラク戦争と続き、4ドル位だった原油価格が40ドル近くまで跳ね上がりましたが、1981年から下がり出しました。これはOPECで内紛が起こったもので、サウジアラビアが増産した1986年に急落しました。次に急騰したのは湾岸戦争の時ですが、すぐにまた落ちました。要は、中東の戦争の要因だけでは価格上昇は長く続きません。ですので、前の湾岸戦争を参考にすると、今回も恐らく3〜4ヶ月で値段は元に戻るようになるかと思いますが、前とは違うのかもかもしれません。藤井先生は、1970年代の石油ショックは戦争ではなくドル安が原因だと言っています。1971年にニクソン大統領が金とドルの交換停止を行ない、その結果として経済構造が変わってしまいました。金の代わりにドルは石油と紐付けられ、米国は裏付けのないペーパーマネーをいくらかでも発行できるようになり、そのせいでこのような価格変動が起きたと言っています。この状況を産業資本主義から金融資本主義の転換という人もいます。さらに続けて見ると、1983年には原油の先物市場がニューヨークで作られました。1985年のプラザ合意で日本の円は極端な円高になっていきましたが、その時はドルが落ち着いていたので原油価格も大きく変動していません。ドラッカーは、世界はシンボル経済に移行したという論文を1986年に発表しています。これは、リアル経済とシンボル経済が無関係に動くようになったので、先物市場の参加者が先物を通じて原油価格を決めるようになってしまったということです。おそらく今その状況は変わっていないのだと思います。2000年代に新興国の経済成長で需要が急増し、リアル経済で原油価格が上昇しているところ。この時に実はドル安が生じており、バブル的な上がり方をしていましたが、それがリーマンショックにより急落します。ですので、戦争よりもこのような金融の影響の方が大きいというのが、2000年代以降の状況です。それをもって、出来事の手操作によって価格が大きく変動する時代、つまりシンボル経済になったと言われています。3月上旬の時点で藤井先生は今後の見通しについて、米国が勝利し、原油高騰は3ヶ月以内に終わり、原油価格は80ドルに戻り、世界経済への大きな影響はなく、米国一強の経済は続き、石油ドル本位制も続き、トランプ大統領は中間選挙で勝利し、長期的に中東情勢は安定すると言っていました。果たしてどうなるのでしょうか。藤井先生がこのように見立てたのは、政治的対立がどうなっているのかを重要視しているからです。米国、ロシア、中国、英国それぞれの主義の対立として、今回の戦争を見えています。米国の表立った敵はイランのように見えますが、その裏には英国守旧派がいて、影には中国がいると考えています。イランの石油代金は元で中国が払い、それを中国の地方銀行で何らかの通貨に変えてタックスヘイブンに行き、そのお金が英国で高級不動産に化け、それでイランは恐らく武器や資材を調達していて、そのことを米国は理解しているのでしょうか。これからもその辺りを締め上げてくるので、藤井先生はこのように見通しを立てたのではないのでしょうか。

次に、今のトランプ政権をどう見るかということです。米国は第1次世界大戦に参加したあたりから、ウィルソン主義によって他国の政治状況に口出しするようになり、そのために国際連盟や国際連合を作り、リベラルデモクラシーを世界に広め、朝鮮戦争やベトナム戦争といった軍事介入も行いました。しかし、それはもう止めて新しい世界秩序に合った外交方針に変え、世界は米国一強支配ではなくなりました。理由としては、ロシアや中国の新鋭ミサイルにより、米国の軍備は時代遅れだと米国自身が思っているため軍事革命が必要になりました。そこで、ゴールドドーム計画としてアメリカ大陸を完璧にミサイルから防衛するために1850億ドルを費やし、そこで開発した技術を民間経済の活性化に使うとトランプ政権は言っているようです。ハメネイ師の暗殺についても、スパイだけではなく色々なハイテクなものを使って居場所を見つけて、ピンポイントでミサイルを撃ち込んだという恐ろしい状況です。どうしてここまでやるのかというと、要はイランのミサイル技術がこれ以上進歩したら、中東の石油はイランの思うがままになるからだだと思います。このテクノロジーの開発にはパラソル・テクノロジー社という新興の軍事企業が関わっています。その共同創業者であるピーター・ティールは、仮想通貨や新たな金融システムの構築を推進しています。米国は暗号通貨と米国債を結び付け、新しいデジタル通貨体制でも金融支配を維持したいと考えています。一方、イーロン・マスク率いるSpace X社が打ち上げている人工衛星のスターリンクは、戦争下でも妨害されにくい通信インフラとして機能しており、今後はブロック化された世界をまたぐような部分において活躍する可能性があると私は思っています。2年前に私は半導体戦争とかAI革命という話をしましたが、キッシンジャーが亡くなる前に書いた論文の中で、AIの台頭と国家の衰退を指摘しています。AIの発展により国家の役割が弱まり、AI企業の影響が増し、さらに宗教の復活も示唆しています。このAIブームにおける電力確保のため、カナダのブルックフィールド社は1,000億ドル規模のインフラ投資を行っています。このように世の中が相当変わろうとしている中で重要なのは、古い常識にとらわれず新しい現実に向き合い、人々の行動の変化を観察しながら自分の行動を変えるようにしていただくということです。ご清聴ありがとうございました。

■ 緑の募金 ■

皆様の温かいお気持ちにより30,991円集まりました。どうもありがとうございました。



2026-2027年度
国際ロータリー
第2500地区
クラブリーダーシップ
ラーニングセミナー
(CLLS) in 旭川

4月12日(日) 旭川市で
開催されました。



会員の輪

冬の間は思い立ったらスキー場に寄れるよう道具を積んで移動をしています。とは言え天気と時間を言い訳に諦めてばかり。しかし先日、春の陽光に誘われシフト前でしたが勇気を出して初カムイにGO！久しぶりのゴンドラはカップルと相乗りで気まずいながらも、山頂の景色に最高のリフレッシュができました。新しい季節も楽しく頑張ります。(伊谷 樹里)

【次回5月13日】 ゲスト卓話 「オホーツクに使命感を持ってお届けする高度な眼科医療
～最先端の白内障手術を日帰りで身近に！～」
オホーツク眼科 院長 石羽澤 明弘 様

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

— クラブ例会とは —

クラブ細則に定められた毎週1回の例会を定例の曜日、時間、会場で開催します。例会は週1回会員が親睦と交流を深める場であり議論の場ではありません。